

# 保健だより



平成23年7月25日発行

## 夏の皮膚トラブルに注意！！

### とびひ

#### 原因

とびひは、あせもや湿疹をかきむしってしまい、黄色ブドウ球菌などに感染して起こります。

皮膚のほかの場所にどんどん広がっていく様子から、とびひと呼ばれています。

また、鼻の穴のまわりの引っかき傷などが発生源になることもあります。

#### ケア

普段から手を洗って清潔にしておくこと。

つめを切っておくこと。

鼻の穴のまわりを触った手で虫刺されやあせもなどを触らないようにする。



とびひになった場合でも皮膚を清潔にしておくことが必要です。湯船には入らずシャワーで洗い流します。患部は、浸出液がまわりに接触しないように軟膏をつけた後、ガーゼなどで覆いましょう。

### 日焼け

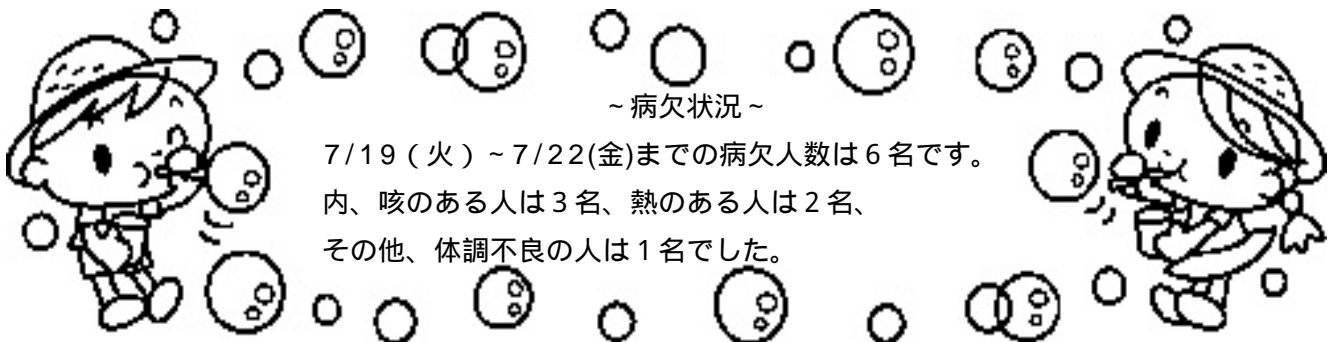
夏の強い日差しを浴びると、皮膚がやけどをしたような状態になります。あまり、ひどい日焼けをすると熱が出ることもあります。外出時には必ず帽子をかぶりましょう。帽子をかぶることは、熱中症予防の点からも大切です。



### むしさされ

ハチ・・・・・・・・・・・・・・・・ハチにさされた場合は、針が残っていないか調べ水で洗い流した後に冷たいタオルなどで冷やします。さされた後に気分が悪くなったり、息苦しくなったりした場合はすぐに病院に行きましょう。

ドクガ・チャドクガ・・・・ドクガやチャドクガの幼虫には毒針毛があり、これが皮膚にささることで皮膚炎を起こします。さされたと思ったら、衣服を脱がせてガムテープなどで毒針毛を数回とる応急処置をし、流水で洗い流します。その後かゆみ止めの軟膏などを塗ります。かゆみが強い時は病院に行きましょう。



～病欠状況～

7/19(火)～7/22(金)までの病欠人数は6名です。

内、咳のある人は3名、熱のある人は2名、

その他、体調不良の人は1名でした。